

令和6年度 第一回海外作家講演会

「音響詩、サイト・スペシフィック、パタエコロジー、インターフェイス」

講師 足立 智美

(パフォーマー／作曲家、音響詩人、楽器製作者、視覚芸術家)

日時 2024. 6. 7 (金) 17:45 – 19:45

場所 金沢美術工芸大学 レクチャーホール (2号館図書館棟)

定員 40名 (要予約) 必ず事前申し込みをお願いします。



予約フォーム

足立智美氏の多岐にわたる活動から、言葉、場所、異種間コミュニケーション、楽器にまつわるトピックをとりあげます。ロシア未来派、ダダズムに端を発するモダニズムを基調に、人と場所にどう関与するか、それを人以外にまで拡張できるか、そしてコミュニケーションの道具としての楽器がどう身体を変容させるかを、作品例を見せながら論じます。最後にはソロによる短いパフォーマンスをおこないます。

足立 智美

パフォーマー／作曲家、音響詩人、楽器製作者、視覚芸術家。その多彩なスタイルで知られ、自身の声とエレクトロニクスによる作品、音響詩、即興演奏、現代音楽作品の上演から、サイト・スペシフィックな作曲、器楽作品、技術を持たない人々のための合唱曲などを、テート・モダン（ロンドン、英国）、ハンプルガー・バーンホフ美術館（ベルリン、ドイツ）、ポンピドゥー・センター（パリ、フランス）、ベルリン・ポエジー・フェスティバル（ドイツ）など世界各地で発表している。その作品には自作のインターフェイスから、人工知能、脳波、人工衛星、ツイッター、骨折、超常現象までもが用いられる。国際芸術祭「あいち 2022」展示部門、パフォーマンス部門に参加。金沢国際実験音楽祭ディレクター。

